

1. 略歴

- 1998年4月 東京大学教養学部文科Ⅲ類入学
- 2000年4月 東京大学文学部歴史文化学科（日本史学専修課程）進学
- 2002年3月 東京大学文学部歴史文化学科（日本史学専修課程）卒業
- 2002年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程入学
- 2005年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程修了
- 2005年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程進学
- 2009年4月 財団法人三井文庫契約研究員
- 2010年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程修了
- 2010年3月 博士（文学）学位取得
- 2010年4月 公益財団法人三井文庫研究員
- 2015年7月 公益財団法人三井文庫主任研究員
- 2018年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 著書

- 『近世の朝廷制度と朝幕関係』東京大学出版会、2013年2月、全332頁
- 三井文庫編『史料が語る 三井のあゆみ—越後屋から三井財閥—』三井文庫発行、吉川弘文館発売、2015年4月、担当2-19頁、32-37頁、42-43頁

(2) 学術論文

- 「近世院政の組織と制度—光格上皇の「院政」を事例に—」『論集きんせい』24号、2002年5月、22-43頁
- 「東京大学所蔵の近世朝幕関係史料について—総合図書館・法学部法制史資料室所蔵分—」『東京大学日本史学研究室紀要』11号、2007年3月、205-243頁
- 「近世仙洞御所機構の成立過程について—靈元院御所を中心に—」『史学雑誌』117編3号、2008年3月、63-86頁
- 「近世の四方拝について—天皇・院の「政務」をめぐる一考察—」朝幕研究会編『近世の天皇・朝廷研究—第1回大会成果報告集—』、2008年3月、87-110頁
- 「近世初期の朝廷機構と江戸幕府—明正上皇付公家衆を事例に—」『論集きんせい』31号、2009年5月、1-18頁
- 「十八世紀の朝廷運営と上皇—桜町上皇の時代を例に—」『東京大学日本史学研究室紀要別冊 藤田先生退職記念 近世政治史論叢』、2010年3月、145-160頁
- 「十八世紀の朝廷と職制—皇嗣付三卿を中心に—」藤田覚編『史学会シンポジウム叢書 十八世紀日本の政治と外交』山川出版社、2010年10月、77-97頁
- 「御為替三井組の御用関係帳簿類について—寛政四・五年の京・大坂両替店史料を例に—」『三井文庫論叢』44号、2010年12月、33-70頁
- 「御為替三井組の御用関係帳簿類について (2) —訂正・注記から考える—」『三井文庫論叢』45号、2011年12月、65-92頁
- 「近世朝廷における公日記について—執次「詰所日記」の部類目録を中心に—」田島公編『禁裏・公家文庫研究』4輯、思文閣出版、2012年3月、59-84頁
- 「近世朝廷と三井—三井文庫所蔵史料から—」朝幕研究会編『近世の天皇・朝廷研究』4号、2012年3月、31-56頁
- 「17世紀中期における江戸幕府の朝廷政策について—公家の家領・家禄・役料を中心に—」『歴史学研究』897号、2012年10月、1-17頁
- 「御為替三井組の御用関係帳簿類について (3) —十人組作成の帳簿・失われた記録—」『三井文庫論叢』46号、2012年12月、155-192頁

「三井の御所両替御用について」『東京大学日本史学研究室紀要別冊 吉田伸之先生退職記念 近世社会史論叢』、2013年4月、243-251頁

「近世朝廷の制度化と幕府—東福門院和子の御所を中心に—」『日本史研究』618号、2014年2月、85-111頁

「三井の武家貸と幕府権力—享保期の上方高官貸の成立を中心に—」牧原成征編『史学会シンポジウム叢書 近世の権力と商人』山川出版社、2015年11月、65-96頁

「享保期の三井における家法・家史と祖先顕彰—三井高利の事績をめぐって—」藤田覚編『幕藩制国家の政治構造』吉川弘文館、2016年11月、174-211頁

「三井初期の集団指導体制の変容—宝永期の三井高富と大元方成立—」『三井文庫論叢』50号、2016年12月、13-113頁

「十八世紀前期における三井大元方の権力構造—帳簿の様式と正徳期の内部対立を中心に—」『三井文庫論叢』51号、2017年12月、129-229頁

「近世の武家伝奏の登場」日本史史料研究会監修・神田裕理編著『伝奏と呼ばれた人々：公武交渉人の七百年史』ミネルヴァ書房、2017年12月、177-202頁

「商人と博打・遊芸・男伊達—三井周辺にみる十七世紀商人の横顔—」木村直樹・牧原成征編『十七世紀日本の秩序形成』吉川弘文館、2018年2月、221-248頁

「戊辰戦争の戦費と三井」奈倉哲三・保谷徹・箱石大編『戊辰戦争の新視点 下：軍事・民衆』吉川弘文館、2018年2月、71-90頁

(3) 書評・研究動向・小論等

「2006年の歴史学界—回顧と展望— 日本近世」『史学雑誌』116編5号、2007年5月、分担131-133頁

「山口史学と近世天皇論」『歴史評論』704号、2008年5月、60-64頁

東向観音寺史料調査団「東向観音寺史料目録（五）」『東京大学日本史学研究室紀要』13号、2009年3月、197-227頁（共同執筆）

「調査報告 いすみ市岬町押日村中村啓之家文書」房総史料調査会『紙魚之友』25号、2009年10月、4-6頁

「史料・文献紹介 西尾市史さん委員会編『吉良家日記—吉良町史 別冊資料—』」『歴史学研究』919号、2014年6月、58頁

「三井、将軍権力に昵近す—三井家編纂室の謄写史料から—」『三井文庫論叢』50号別冊 三井文庫史料 私の一点』、2017年5月、244-245頁

「菱屋東・中・西新田と三井」『大阪春秋』167号、2017年7月、58-59頁、

(4) 学会報告

史学会第103回大会日本近世史部会報告「東宮三卿について」、2005年11月13日、東京大学

東北アジア文化学会第14次国際学術大会第六分科「近世の天皇と民衆—田植御覧をめぐって—」、2007年5月15日、韓国濟州市国際コンベンションセンター

朝幕研究会主催「近世の天皇・朝廷研究」第1回大会報告「近世の四方拜について—天皇・院の政務をめぐる—考察—」、2007年9月22日、学習院大学

歴史学研究会近世史部会例会報告「近世堂上公家の知行と役料」、2009年1月22日、学習院大学

朝幕研究会主催「近世の天皇・朝廷研究」第4回大会報告「近世朝廷と三井—三井文庫所蔵史料を中心に—」、2011年9月11日、学習院大学

日本史研究会大会近世史部会共同研究報告「近世朝廷の制度化と幕府—東福門院和子の御所を中心に—」、2013年10月13日、京都産業大学

史学会第112回大会日本近世史部会シンポジウム報告「御用商人と統治機構—三井の両替業部門を中心に—」、2014年11月9日、東京大学

(5) 史料翻刻

女院御所研究会「史料紹介 平松時行『女院御用雑記』（宝暦三年）—翻刻と解題—（一）（二）」『論集きんせい』30号・31号、2008年5月、48-56頁、2009年5月、64-74頁（共同執筆）

女院御所研究会「史料紹介 平松時行『女院御用雑記』（宝暦四年）翻刻」『論集きんせい』33号、2011年5月、55-62頁（共同執筆）

三井文庫編『大坂両替店「聞書」1 寛延四年～文化四年』三井文庫発行、吉川弘文館発売、2011年10月、全324頁、原稿作成・校閲を分担

近世経済史料研究会「史料紹介 天保期幕府財政の新史料（一）—天保四年『大坂御金蔵金銀并灰吹銀納払御勘定帳』納の部—」『三井文庫論叢』47号、2013年12月、237-279頁（共同執筆）

近世経済史料研究会「史料紹介 天保期幕府財政の新史料(二) 一天保四年『大坂御金蔵金銀并灰吹銀納払御勘定帳』渡の部一」『三井文庫論叢』48号、2014年12月、165-206頁(共同執筆)

廣岡家研究会「史料紹介 廣岡家文書と大同生命文書—大坂豪商・加島屋(廣岡家)の概容」『三井文庫論叢』51号、2017年12月、303-394頁(共同執筆)

(6) 受賞

第6回徳川奨励賞(財団法人徳川記念財団、2008年12月)

3. 主な社会活動

(1) 学会

歴史学研究会委員(2012年5月～2014年5月)

日本古文書学会編集委員(2014年5月～現在)

(2) 非常勤講師

専修大学文学部(2012～2014年度)、慶應義塾大学文学部(2015～2016年度)

東京女子大学現代教養学部(2017年度～現在)